

廃棄物資源循環学会「災害廃棄物対策・復興タスクチーム」

現場派遣メモ（4月10日）

文責：蛭江、神保

1. 活動場所 仙台市、東松島市
2. 活動内容 現地ヒアリング、石巻漁港周辺調査、避難所のトイレ事情調査、浄化槽関係者ヒアリング
3. 現地の天候：晴れ
4. ポケット線量計着用記録：無し
5. 感想や課題認識など
  - 津波堆積物に関して、周辺が水田地域の場合には水田の土もかなり巻き込まれていると考えられる。津波堆積物はいくつかのレイヤーとなっており、堆積物の内部は嫌氣的雰囲気のため黒色であり、また、表面は空気に触れるため乾燥・酸化しており、灰色もしくは赤褐色（酸化鉄？）である。東松島市では市街地を中心にボランティアなどによる堆積物の撤去活動が行われている。撤去されていない堆積物には消石灰が散布されていた。消石灰は自治体（東松島市では農林水産課農政班）が配布しており、各市民センターで配布されているようであるが、散布自体は市民が行っているため、適切な散布（量や散布方法）が行われているかは考慮すべき点である。
  - 津波で稼働停止した石巻東部浄化センター付近は津波による被害も甚大で、また、周辺に水産加工業者が多数存在することから、非常に生臭い臭いであった。その水産加工業から排出される排水を処理する石巻水産加工排水処理公社が同地区にあり、そこで使用されていたであろうポリ硫酸第二鉄の入ったタンクが破壊され、内容物が全て流出していた。その他、石巻漁港を中心に小型のものから大型のものまで、タンクが散乱した状況になっていた。
  - 避難所（東松島市コミュニティーセンター、避難者数 234 名[9 日時点]）の駐車場にある仮設トイレ（簡易水洗）はし尿回収が未定のため、洗浄水を使わないようになっていた。結果、トイレトーパーは備え付けのビニール袋に入れるよう注意書きがされている。バキュームカーが極端に足りないとは聞いておらず、要望のとりまとめなどに時間がかかっている可能性がある。また、避難所の掲示板によると、多くの避難所にてインフルエンザや感染性胃腸炎が発生しているとのことであった。
  - 仙台市にある（社）宮城県生活環境事業協会（浄化槽法定検査センター）で浄化槽、汲み取り、し尿処理場関係でお話をお伺いした。保点業者の中には被災により車、機材を失っているところもある。浄化槽等の汲み取りについては、定期的に清掃業者が回り、回収漏れの無いように進められているとのこと。被災地に住んでいた親族等を受け入れている家庭では、通常 5 人で生活しているところを 10 人で住んでいるような状況であり、浄化槽の使用人数を上回ってしまう。人が戻りつつある地域を含め、週

明けから本格的に調査・検査を進める。

## 6. 主な活動内容及び記録写真

9:00~ 書類整理

12:00~ 東松島市在住の知人宅で周囲の状況をヒアリング

13:00~ 石巻漁港周辺調査（石巻東部浄化センター周辺、石巻水産加工排水処理公社周辺）

14:00~ 避難所（東松島市コミュニティーセンター）における仮設トイレ

16:00~ 宮城県生活環境事業協会面談

18:00~ 環境局でまとめ

## 写真



石巻工業港周辺の被害状況（日本製紙）



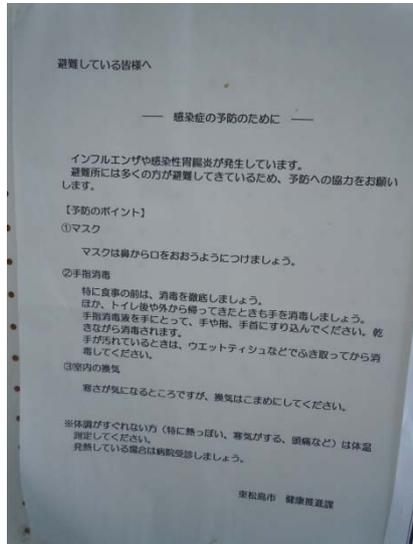
防波堤まで流された JF 全漁連のタンク  
（内容物不明）



石巻市水産加工排水処理公社



タンクが破損し、流出したポリ硫酸第二鉄



避難所における感染症の注意喚起



一般家庭の震災ごみ集積場の案内



東松島市津波防災マップ (H20年発行)